

東京医科大学の職員のみなさん
東京医科大学の学生のみなさん
東京医科大学を支えていただいている全てのみなさん

みなさん、本日が何の日かご存知でしょうか。
99年前の今日、大正5年（1916）9月11日。
東京医科大学の源流である「東京医学講習所」が開講した日です。

大正5年（1916）5月、日本医学専門学校（現在の日本医科大学）の学生約450名は
同盟をもって総退学してしまいます。
このまま卒業しても開業の許可を得られない、ということの後から知らされたことに
対する強い抗議の意味も込めての行動でした。

そして、ほかにも道はあっただろうに、彼らは自分たちの手で医学校を創ろう！とい
う、最も困難ですが、最も理想に近づくことができる選択をしました。

そして、同年の9月11日。
学祖高橋琢也先生らのご尽力により、東京物理学校（現在の東京理科大学）の一画を
間借りする形でしたが、総退学からわずか4カ月で、まったく新しい医学校をスター
トさせたのです。

これが現在の本学、東京医科大学の起源です。

自らの道は自ら考え抜き、決断し、行動して切り拓く。
建学の精神である「自主自学」には、こうした熱い意思が込められているのです。

99年前の今日、学生たちや、彼らを支援した多くの方々が、どんな気持ちでこの日を
迎えたか、みなさんも少し想像してみてください。
そして、いまの東京医科大学があることを先人に深く感謝し、「自主自学」の精神と「正
義、友愛、奉仕」の旗印のもとで、次の時代を創り上げていくことを誓い合おうでは
ありませんか。

平成27年9月11日
学校法人東京医科大学
理事長

臼井正彦